

【市長コメント】

この度、関東地方整備局の令和4年度予算概要の中で、「概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）」路線として、核都市広域幹線道路（埼玉新都心線～東北道付近）が示されたことは、早期実現に向けた大きな前進であり、大変喜ばしく思っております。

核都市広域幹線道路は、神奈川、東京、埼玉、千葉を結ぶ広域的な幹線道路であり、本市の目指す東日本の中枢都市を実現するためには非常に重要な路線です。

昨年12月に開催されました、「埼玉県東西軸道路検討会」において、埼玉新都心線から東北自動車道間が、優先検討区間として位置づけられました。

今後は、県と協力しながら、国に対し計画の具体化をお願いするとともに、概略計画の検討にあたっては、地域の重要な区域・施設を把握し、見沼田圃を始め生活環境、自然環境、歴史・文化資源等に配慮するため、本市が中心となり、国や埼玉県とも連携し、道路の必要性等について地域住民の理解を得られるよう積極的に取り組んでまいります。

令和4年3月25日

さいたま市長 清水 勇人